

『ふつうの人が小説家として生活していくには』

12月25日
出荷開始予定

津村記久子 著 島田潤一郎 聞き手

小説家に聞いた 4 日間。生きるヒントにあふれるインタビュー。

2005年に太宰治賞の受賞作『君は永遠にそいつらより若い』でデビューした津村記久子さんは今年、デビュー20周年を迎えます。休むことなく、『ポトスライムの舟』、『デイス・イズ・ザ・デイ』『つまらない住宅地のすべての家』、『水車小屋のネネ』などの傑作を発表し続けた作家はどのように暮らし、どのように小説を書いてきたのか？同世代の編集者が共通の趣味である音楽、サッカーの話をまじえながら、その秘密を根掘り葉掘り聞きました。「オープンソースだけで仕事をしてきた」と語る「ふつうの人」がなぜ、唯一無二の作家となったのかを解き明かす、元気が出て、なにかを書きたくなる、ロング・インタビュー。名言がたくさんです。

価格：1600＋税／208頁

四六判／ハードカバー ISBN 978-4-904816-51-6 C0095

取次：JRC（すべての取次からの搬入が可能です）



ご注文は JRCへ FAX：03-3294-2177 電話：03-5283-2230

発行 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町 1-5-10-106

発行 夏葉社

津村記久子 著 島田潤一郎 聞き手

本体1600円＋税

ご担当者様

冊

取り扱い書店名